2023年12月3日  川越教会

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　丸山　勉

クリスマス＝プレゼント

［マタイによる福音書1章18節～23節］

イエス・キリストの誕生の次第は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人が一緒になる前に、聖霊によって身ごもっていることが明らかになった。夫ヨセフは正しい人であったので、マリアのことを表ざたにするのを望まず、ひそかに縁を切ろうと決心した。このように考えていると、主の天使が夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフ、恐れず妻マリアを迎え入れなさい。マリアの胎の子は聖霊によって宿ったのである。マリアは男の子を産む。その子をイエスと名付けなさい。この子は自分の民を罪から救うからである。」このすべてのことが起こったのは、主が預言者を通して言われていたことが実現するためであった。「見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」この名は、「神は我々と共におられる」という意味である。

「クリスマス」というと、私たちの心はどこか華やぐものがあると思います。クリスマスを大切な人と過ごす、それは「幸福」の象徴のように思えますし、もちろんそれは素敵なことです。でも、こんな言葉とも出会い、本当にそうだなぁ、と思ったんです。19世紀後半に生まれた**ロマーノ・グァルディーニ**というイタリア生まれのカトリックの神学者の方ですが、このような言葉です。

***「クリスマスは、家族や子供たちの喜び、家庭的な雰囲気だけの祝日ではない。家庭から離れて生活しているか、或いは家庭を持っていないか、いずれにしても孤独な生活をしている人も、クリスマスを祝うことが出来る。クリスマスは、贈り物をする人たちだけの祝日ではない。贈る物を何も持っていない人、贈る相手のいない人の祝日でもある。家庭の祝日であるだけでなく、孤独な人たちの祝日でもあるのだ」。***

これは言い換えると、誰もクリスマスから排除される人はいない、ということですね。「今年のクリスマスは良かった」「今年はダメなクリスマスだった」とか、そんなことはないんですね。クリスマスというのは、私たち自身の思いがどんなにクリスマスを迎えるに相応しくないように思える時でも―例えば人間関係で疲れ切っていたり、とても悲しい出来事に出会ったり、或いは、ほとほと自分自身に絶望してしまうような気持になっていたとしても―クリスマスの方からあなたに近づいてきている、と言って良いのではないかと思います。それは、クリスマスの意味が、「神はわれわれと共におられる」（マタイ福音書1:23）ということだからです。イエス・キリストが幼子として誕生したというのは、神が全力で私たちを、あなたをしっかりと抱きとめるために来て下さったからです。

ポーランドの古いクリスマスの讃美歌の歌詞にこういう言葉があるのです。

***「******天国には人間よりも大事なものがなかったのか、***

***神は御自分の至福をお捨てになって、愛する人類の中に入られ、その労苦を共にして下さった。私たちのために多くの苦しみを受けられた。***

***みことばは人間となり、我らの間に住まわれた。」***

「天国には人間よりも大事なものがなかったのか」と反問していますが、神様にとって人間というのは、いてもいなくてもどっちでも良い存在ではなくて、ご自分の瞳のような存在だと聖書に記されている所があります。

この世界は、人間が生きて行くことが出来るように保持されている世界です。この世界は「ギフト」だらけです。水、空気、光、天体の運行、また身近な所では、家族や健康や仕事もそう言えるでしょう。また何より私たちの命そのものも自分では創り出すことが出来ないもので、命はギフト、つまりプレゼントだと思います。夜寝てまた目覚めることが出来るというのも考えてみたら不思議なことです。この世界は実は不思議なことだらけ、そしてその背後には、神様がおられるんです。さっき私は「全力で」と言いました。本当にそうだと思うのです。ご自分の独り子を、臭い家畜小屋に生れさせ、ナザレの村の田舎夫婦にその命を預け、そして人間の罪を十字架でイエスに負わせられる。これは神様の捨て身の愛以外の何ものでもないと思います。なぜ神様はそこまでするのか。「天国には人間よりも大事なものがないから」ではないでしょうか。あなたのために、あなたの隣り人となるために、イエス・キリストは来られたのです。人間は、私たちは、素晴らしい存在なんです。神と神の独り子イエスの命が全力で注がれている存在なのですから！

今日、私たちは素敵な「音楽」を聴いています。ある意味、音楽も私たちも同じだと思います。音楽も私たちの存在も、「無」から「有」への「創造物」だからです。ホルンは（金管楽器、木管楽器は全て）、そこに風が吹き込まれることによって音が生れます。人間も同じです。神様の息吹が私たちにはいつも送られているのです！自分と言う器は大した器ではないと私たちは思いますが、そこに命の息吹を吹き込んで下さるのは神様です。イエス様です。この方が私たちと共にあって、私たちの人生の責任を取って下さるのです！この方と共に生きて行くことが始まった日、それがクリスマスです。あなたは、決して一人ではありません。ご一緒にクリスマスに感謝をしましょう。お祈り致します。